

たかまつし けいかく かしょう あん  
**「高松市こども計画（仮称）」案についてのパブリックコメント**  
 意見書

※の項目については、差し支えなければ、ご記入ください。

お名前（必須）	(フリガナ) タムラ ユウ 田村 遊
住所（必須）	〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第1 201号
※電話番号	
※メールアドレス	you-19830818@outlook.jp
「高松市こども計画（仮称）」案の内容等に対するご意見	<p>(意見)</p> <p>① 地域子育て支援事業についての利用意向が極端に低いが、その理由が気になる。理由も含めた調査や記載を行う必要があると考える。</p> <p>② 「ひきこもり」、「不登校」という言葉については、「～状態」という表現にした方が良いと考える。</p> <p>③ 各論の【取組】表中、初出の箇所に「（再掲）」と書かれているところがいくつか見受けられるのが気になる。</p> <p>④ 事業所（企業）に対する子育て支援への啓発に関する取り組みが大変少ないように感じられる。</p> <p>⑤ 障がいのある児童生徒に関する施策で、特別支援教育の充実が挙げられているが、インクルージブ教育についての記載がない点が気になる。</p> <p>⑥ 「前期計画の数値目標設定事業の達成状況」のC評価以下（特にE評価）のものについては、理由と対策の記載も必要ではないかと考える。</p> <p>⑦ 用語解説は欄外の方が良いと思う。</p>
	(理由) 計画を拝読させて頂き、感じたことを率直に記させて頂いたが、②については、「病気や障害ではなく、状態を表す概念。」であるということを明確にする意味で、「ひきこもり状態」、「不登校状態」と表記する方が良いと考える。⑦については、ダウンロードしてPCで閲覧することを考えると、当該用語が登場するページの欄外に用語解説を設ける方が読みやすく、理解しやすいのではないかと考える。
その他 (必要な取組など)	OHP には、「子どもからの意見も募集している」記載があり、漢字にはふりがなも振られており、大変良いと思ったが、いざ計画（案）を見てみると、200 ページ超の明らかに成人向けに書かれたものと感じられる。この計画を読んで意見を発することができる「子ども」がどれだけいるだろうかと感じてしまう。本気で子どもからも意見を求めるのであれば、せめて、【子ども版】のような形で、内容・分量に配慮した、少なくとも小学校高学年の年齢の子どもが読んで、容易に理解できるものも作成する必要があると考える。

きょうりょく ご協力ありがとうございました。